

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年6月28日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0176400018		
法人名	株式会社 萌福祉サービス		
事業所名	グループホーム 萌		
所在地	北海道留萌市開運町1丁目2番地7号 (電話) 0164-49-2258		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年6月25日	評価確定日	平成19年7月9日

## 【情報提供票より】(平成19年6月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)13年 9月 10日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	6 人	常勤 6人, 非常勤 人, 常勤換算 6人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造亜鉛 メッキ銅版葺 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	6,000 円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	210 円	昼食	263 円
	夕食	346 円	おやつ	105 円
	または1日当たり		924 円	

### (4) 利用者の概要(6月1日現在)

利用者人数	9名	男性	4名	女性	5名
要介護1	1名	要介護2	3名		
要介護3	3名	要介護4	2名		
要介護5			要支援2		
年齢	平均 82.4歳	最低	71歳	最高	95歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	留萌市立HP 川上内科 菊田歯科
---------	------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

母体総合福祉の法人を中核として、市内中心部に設立されたグループホームである。理念に基づきホームの達成する目標を明確にすると共に、同一福祉施設間で運営状況の内部監査を実施して改善点を見出し、ケアサービスの質の向上に取り組んでいる。また、管理者・職員は研修の意欲も高く、年間計画を立てて内部の研修や外部の研修を充実させる取り組みがされている。共用空間では、音楽療法で喜んで歌唱したり、利用者がそれぞれ食事の準備や趣味の縫い物、談笑などしたりして安心して過ごせる場となっており生活感が漂っている。運営推進会議も評価日現在1回実施され、留萌市との連携でケアサービスの質の向上にとともに取り組んでいる様子が伺えた。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、グループホームの看板を表示するよう指摘されているが町内と共催する盆踊りなどの行事や近隣住民との交流などでグループホームの機能を地域に還元して認知症に対する理解と広報にも取り組み地域の認知が高くなり、表札も掲げられている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は職員も参加して実施され、職員の研修の機会として捉えられケアサービスの質の向上に利用されている。また、管理者、職員は評価の意義を確認し合い理解が深められています。また、外部評価の結果については運営推進会議で報告され改善の機会として取り組まれている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、評価日現在1回実施されています。主題については事業所の理念について 自己評価及び外部評価の意義について グループホーム萌の活動について 事業所への要望や意見について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 「家萌利新聞」や「もえからのお手紙」を毎月発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子や行事の案内、家族が意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。また、金銭の管理についても出納明細が毎月家族に報告されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会と共催の盆踊りを通じて地域や他施設の人達との交流が行われています。また、近隣商店での買い物で地域貢献に心がけ、実習生の受け入れや「家萌利新聞」「もえからのお手紙」の発行、運営推進会議で地域の連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいます。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	経営理念をもとに、介護理念及び具体的なグループホームの年間目標をつくり、日常の業務を通じて地域の中でその人らしく暮らして支えることを職員間で共有されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は理念の重要性を朝の引継ぎ時に唱和などして共有している。また、経営理念、介護理念、年間目標を達成するために具体的に日々取り組まれている。また、P-D-C-Aのサイクルが機能する仕組みが整っている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入して、町内会とホームで盆踊りなどの地域の行事を共催したり、認知症に対する理解や広報の為に運営推進会議や市の家族介護教室、包括支援センターの会議などに積極的に参加するなど地元の人々との交流に取り組まれている。		日常の買い物や外食など地域の商店で買うことに心掛け、地域に密着した取り組みが行われて認知症への理解や啓発に取り組まれている。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しており、その評価項目についても全ての職員が参加して評価されており、日々の業務の中で活かす取り組みがされている。また、自己評価や外部評価結果についても評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在1回開催されている。メンバーは家族、地域の住民代表、行政、管理者・職員で構成され具体的に取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の担当者が運営推進会議に委員で参加したり、管理者が包括支援センターの会議に参加するなど市と共にケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<p><b>4. 理念を実践するための体制</b></p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>母体法人の「家萌利新聞」やグループホーム独自の「もえからのお手紙」を毎月発行して、利用者の日常の暮らしぶりや健康状態などそれぞれの家族に情報提供して喜ばれている。また、状態変化については都度電話連絡などで詳細に報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>自己評価・外部評価の結果を運営推進会議で報告して意見を聞く機会を作ったり、来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組んだり、苦情相談窓口を明確にして気軽に意見や苦情・相談ができる環境整備に心掛けそれらを運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>「もえからのお手紙」や共用空間で全スタッフの紹介を掲示するなど家族に情報提供をしている。また、管理者は職員の移動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		<p>過去1年間の職員の離職はなく、管理者・職員間の報告・連絡・相談が機能しており利用者への生活の安定に配慮されている。</p>


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	提携病院への研修や法人内での年間研修、外部の研修への参加を積極的に奨励したり、送りなどで職場内研修、OJTが実施され職員を育てる取り組みがされている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	実践者研修、ヘルパー研修の受入れや、他施設との交流など開かれたグループホームである。また、社内ではグループホーム運営向上委員会でケアサービスの質の向上に取り組んでいる。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には、利用者・家族が納得したサービスが受けられるように不安を解消する取り組みや場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員も利用者と一緒に楽しんで食事の準備や食事をしたり、編み物やレクリエーションなどの趣味への支援を利用者の過去の大事な出来事や生活歴を把握して、本人の気持ちになった支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントに基づいて利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望や意向を大切に、散歩や買い物、ラーメンなどの外食など外出の機会を多く作ったり編み物、花・野菜作り、歌唱などの趣味への支援などの取り組みがされている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は、介護支援専門員の適切な管理のもとに、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れた具体的な内容となっている。		アセスメントに基づいて具体的な介護計画が作成されている。今後は、センター方式についても一度検討されてみては如何か。
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、定期的に見直しが行われている。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況に応じて、通院の支援や要望のある場合には散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。また、音楽療法への参加や医師・歯科医師の往診など時々々の要望にも対応される。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援  利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護職の配置や利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて、状態変化などについても医師・歯科医師の往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	運営推進会議の中でも重度化した場合や終末期のあり方について議題として取り上げられ話し合われている。医療機関と連携して利用者・家族とも段階的に繰り返し相談し合いながら慎重に検討対応するよう職員間で共有される取り組みがされている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重して声かけに取り組まれています。また、記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの今の気持ちを尊重して、買い物で金銭を使う場面を見出したり、食事の準備や掃除、縫い物やレクリエーションなどの趣味への支援など本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって楽しんで食事の準備をしている。また、職員も利用者と同じ食事を楽しんで、和やかな食事風景であった。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴拒否の強い利用者には、個別に対応されている。また、入浴日は基本的に決めているが利用者の希望に応じて対応されてゆっくりとくつろいで楽しめるように支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	アセスメントに基づいて一人ひとりの生活歴が把握され、縫い物、花・野菜の栽培、歌唱、掃除、食事の準備やラーメンなどの外食や買い物、散歩など気分転換のための外出の機会も多くつくられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物で金銭を使う場面を見出したり、図書館で留萌市の昔の町並みが見れる記録映画の鑑賞、ラーメン・焼肉などの外食など気分転換や心身のリフレッシュができるように外出の支援が行われている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、利用者が自由に外出できる取り組みがされ職員がさりげなく見守り安全面で配慮されている。また、利用者の外出傾向も職員間で把握され取り組まれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>防火管理者が配置され、緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練や救急救命が実施されている。また、消化設備についても点検が実施され対策されています。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な水分・食事摂取量が把握され、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握され、看護職や医師の指導・アドバイスも受けて支援されている。また、食事中は、利用者同士助け合い微笑ましい食事風景でした。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関入り口には、プランターで花が飾られたり、廊下や居間では椅子やテーブルが配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保されている。また、ウッドデッキがあり畑作りや日光浴を楽しむことができ季節感や気分転換ができるように配慮された工夫がされている。</p>		<p>利用者一人ひとりが居間に集まり、談笑したり食事の準備をしたり思い思いに仲良く過ごして安心して過ごせる憩いの場となっており生活感を感じさせる。</p>
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は、タンス、ソファなどの使い慣れた家具などが持ち込まれたり、家族の写真や趣味の貼り絵などが飾られ一人ひとりが居心地よく過ごせるように工夫している。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。